



## 病院理念

# 心・信・真

《安心と信頼の医療を真心こめて》

### 前田病院病棟透析拡張工事と天神クリニック増床工事

透析部門長 熊川智恵子

入院患者さんの病室から腎センターへの移動の負担軽減と、高齢の方でも「周囲に気兼ねなく透析を受けられる環境を」と始まった病棟透析も、開始から1年が経過しました。徐々に病棟透析の患者さんを増やしてきましたが、リハビリ目的や病状により長期療養を必要とする患者さんが増えたことで病棟透析の病床数が不足しているのが現状です。そこで今回、新たに透析可能な病床数を増やすこととなりました。開始当初不慣れな手つきで介助を行っていた病棟スタッフも、今では日常の業務となり、また、透析室経験を持つスタッフの増加と共に、病棟スタッフの日々の努力により、病棟でも安全な透析治療が提供できるようになったことが、増床可能判断の大きな要因とも言えます。今後もなお一層安全に心がけ、ご自分の病室で慣れたスタッフのもと、安楽に透析治療を提供できるようスタッフ一同努力していきたいと思っております。

また、同時に天神クリニックにおいても増床中です。透析治療と日常生活の充実。特に仕事に支障を来すことなく透析治療を受けられるオーバーナイト透析を希望する患者さんは多く、お待ちいただいている状況です。一人でも多くの方を受け入れられるよう只今準備中です。今しばらくお待ちください。

前田病院の透析治療は、働き盛りの方、長期療養を必要とする方、それぞれのニーズに合った治療環境の提供を目指しています。



### 前田病院

〒848-0027 伊万里市立花町 2742-1

TEL0955(23)5101 FAX0955(23)3315 腎センター直通 TEL0955(23)8835

HP: www.maeda-imari.or.jp



### 天神オーバーナイト透析&内科

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-2-20 天神幸ビル 1階

TEL092(753)8373 FAX092(753)8371

HP: www.kouzen-tenjin.or.jp

## 佐賀新聞社健康セミナーにて

6月15日、佐賀新聞社主催・前田病院共催にて健康セミナー「社員と家族のために知ってほしい糖尿病・腎臓病のはなし」を佐賀新聞社にて開催しました。150名ほどの参加があり、佐賀大学医学部附属病院の安西先生、池田裕次先生、当院の前田篤宏副院長の講演があり、みなさん熱心に耳を傾けられていました。

安西先生のお話では、県内の糖尿病患者は約13万人いると指摘され、「自分の症状を理解し、生活習慣を工夫して予防することが重要」と呼びかけられました。また、講演後の個別相談会では、安西先生・池田先生・前田利朗理事長・前田麻木院長が対応され、合計12組の相談がありました。糖尿病・腎臓病の方はもちろん、保健師の方や業務で社員の健康管理に携わられている方も参加されていて、みなさんの健康意識の高さを感じられました。



## 10分でできる節酒指導(肥前精神医療センター福田先生)研修

看護部 外来師長 小林恵美子

食事摂取量にキロカロリーという単位があるのは皆さんご存じと思いますが、「ドリンク」という飲酒量の単位をご存じでしょうか？純アルコール10gが1ドリンクです。

計算式は、酒の量 (ml) × 度数 (%) / 100 × 比重 (0.8) = 純アルコール量

1ドリンクは、5%ビール 250ml または日本酒 0.5合となります。

アルコールは適量であれば百薬の長は誤り、アルコールは悪だそうです☺。アルコールが身体に及ぼす影響は様々で、肝臓・膵臓・脳委縮・高血圧・糖尿病・癌・大腿骨骨頭壊死・抑うつ・神経障害など全身に及びます。生活習慣病の大きな要因です。生活習慣病リスクが高まる飲酒は、男性4ドリンク、女性2ドリンク/日、女性はビール500ml/日でリスク群です☺。多量に飲むことはないので大丈夫と飲酒を安易に考えていると数年後は恐ろしい事になりかねません。そこで節酒指導が重要になります。当院の職員アンケート調査では17名がリスク有りの回答でした。飲酒をやめる必要はありません。量を減らすこと、度数を下げること、休肝日を作ることを実行して健康的な生活を送って欲しいと思います。

節酒アプリが開発されました。自身の飲酒量管理ができ、アドバイスもしてくれます。節酒をやってみようと思う方は、是非活用してみてください。「うちなー節酒カレンダー」で検索を！





## 2019年度 新入社員 親睦キャンプ研修

診療支援部長 小林 稔行

月日が経つのは早いもので、2019年も半年が経過しました。この度、7月13日(土)・14日(日)に新入社員親睦キャンプ研修を嬉野市営 広川原キャンプ場で開催し、私も同行してきました。新入社員15名を含む、総勢51名の参加でした。

最初に参加者全員で食材や必要物品の買い出しを行い、伊万里を出発しました。現地到着後は、教育委員会主催の新入社員3か月フォローアップ研修にて、入社後これまでの振り返りと、今後の目標設定を行いました。その後バーベキュー大会を開催。天候はあいにくの雨でしたが、自然に囲まれた環境は心が癒されます。みんな笑顔で美味しい焼肉や野外炊飯での手料理を食べながらの語らいは時間を忘れさせ、非常に楽しいひと時でした。新入社員にとって忘れられない日になった事でしょう。新入社員のみんなもこのような研修を開催してくれた事に感謝しており、大成功の親睦キャンプだったと思います。



## 第12回 前田病院夏祭り—令輪祭—

実行委員長 北川 大知 (リハビリテーション課)

令和元年8月31日第12回前田病院夏祭りが開催されました。今回は令和一発目ということで、入院患者さんのみでなく外来通院患者さんなどにも参加を呼びかけました。テーマを“令輪祭”とし、患者さんや職員との隔たりを無くし、ひとつになって楽しむことを目標にしました。当日は雨予報でしたが、祭りの前半は持ちこたえ晴れ男の力を十分に発揮できたと思っております。出し物は昨年同様にステージを作成し、ほがらか園のお遊戯“サンサン体操”伊万里太鼓の演奏を行っていただきました。出店は各地で大活躍のPEAK SMILEの筋肉かき氷、博多屋台ラーメン、前年度の食べ物に追加で揚げドーナツを行いました。食べ物は各50~200食の計400食分程用意していたものが、あまりの人気ぶりに30分足らずでほぼ完売という、あっという間の出来事もあり、患者さんやご家族、職員も楽しみながら開催できたと思います。今年はモーモーちゃんも駆けつけてくれ、さすが伊万里のスーパースコットという人気ぶりでした。健康運動指導士の小野原さん所属の筋肉かき氷ではたくさんのマッチョの方に来ていただき、私自身が目の保養になりましたし、小さいお子様から高齢者まで一人の女性として熱い視線を送っている姿を目にし、自分も数年後あの舞台に立つことができれば、黄色い声援を浴びることができるのではという不純な気持ちで拝見しておりました。患者さんやスタッフ、みんなの笑顔があふれるひと時になり、患者さんの元気が120%になったと感じました。患者さんのご家族の参加も多く、家族団欒の時間になったのではないのでしょうか。「楽しみにしてたよ！」や「また来年もお願いね！」などたくさんの嬉しい言葉を聞くことができました。病室では見られない表情や、楽しんでいた姿をみて、涙ぐむスタッフもいました。これまで準備してきた実行委員や当日参加してくださった職員総勢117名の団結力や目配り気配りがあった結果、大成功に収められたと感じます。このような催し物は患者さんや職員にとっても大事なものだ改めて感じました。これからも前田病院の伝統を築き、発信していきたいと思っております。



# 外来診療担当医師

受付・検査時間 8:30～12:00 / 14:00～17:00

診療時間 9:00～12:30 / 15:00～17:30

\*休診 土曜午後、日曜、祝日

診療科目	月	火	水	木	金	土(午前)
腎臓内科		前田篤宏 (10時半～12時)	前田篤宏 (10時半～12時) 池田裕次(午前)	前田篤宏 (10時半～12時) 末永敦彦	前田篤宏 (10時半～12時)	前田篤宏 (10時～12時) 九州大学医師 (月2回)
血液内科	松崎美和子 <small>佐賀大学医師(15時～)</small>	松崎美和子	松崎美和子		松崎美和子 久保田 寧	松崎美和子 (月1回)
呼吸器内科	前田智美 (10時～12時)	前田智美 (14時半～16時)	木下義晃	前田智美 (14時半～16時)	前田智美 (14時半～16時半)	坂本篤彦 (月2回)
漢方内科			栗山一道(15時～)	栗山一道(午前)		
糖尿病内科	前田麻木	前田麻木		前田麻木	前田麻木 (午前)	前田麻木 松田やよい (月1回)
脳神経科					一ノ瀬誠 (第2・第4) ※予約制 (14:00～17:00)	
消化器内科	菊地宏樹	菊地宏樹 江崎幹宏※月1回 (13時～17時)	冬野雄太 (9時～16時)	菊地宏樹	菊地宏樹 古賀章浩	菊地宏樹 (月2回)
整形外科	副島整形より (午前)	副島整形より (午前・月2回)	副島整形より (午前)	副島整形より (午後)		
※受付時間 (11:00 まで)				(受付 16:00 まで)		

\*上記担当医師につきましては、都合により診療時間等の変更が生じる場合がございます。

\*担当医に関するお問い合わせは、TEL0955-23-5101 までお問い合わせください。



## 編集後記

朝から避難警報が何度も鳴り、どうしたらいいのか行動に迷いましたが…自宅で様子を見る事にしました。幸い近辺に被害は見受けられませんでした。テレビでは町が浸水したり道路が陥没したりと、県内の情報を一日中報道していました。水害に加え油の被害まで…それもすぐ隣の事で他人ごとではないです。ボランティアの応援も受け片づけが始まっていますが、元の生活ができるようになるには家も田畑も長い月日が必要でしょう。突然襲う災害に何時でも対処できるようにとテレビ番組でも特集がされたりしていますが…私は何の準備もせずいます。皆さんはいかがですか？ これからもまだまだ不安定な気象が続くそうで、何が起きるかわかりませんが、命を守る事を第一に冷静に行動しましょう！！

中村

